

2024 年度

博士課程教育推進機構

海外研修を通じた大学院生の研究能力

と PhD スキル強化プログラム

(JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣) 利用)

募集要項

【2024 年度】博士課程教育推進機構

海外研修を通じた大学院生の研究能力と PhD スキル強化プログラム

(JASSO 海外留学支援制度 (協定派遣) 利用) 募集要項

1. 趣旨

名古屋大学は、大学院を改革して、高度な専門教育だけでなく、専門家として国内外で活躍するための汎用的能力 (PhD スキルと呼称) も育成する場とする取組を進めています。博士課程教育推進機構 (博士機構) は、リーディング大学院プログラム等の経験から、海外研修が大学院生の研究能力だけでなく、PhD スキルをも高める契機になると確信し、全学の大学院生、大学院進学を希望する 3 年生以上の学部生を対象とする事前準備を重視する海外研修プログラムを実施します。

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構「海外留学支援制度 (協定派遣)」利用を前提とし、名古屋大学により実施されるものです。「3. 派遣学生の資格・要件」を満たさない場合は、本プログラムに参加はできません。

2. プログラム内容

本プログラムでは、研修志望者がみずから用意した留学、インターンシップ、独自調査、海外ラボ体験、ポスドク等の研修計画を博士機構がその成熟度を確認したうえ、連携先とタイアップして、志望者の研修実施を継続的に支援します。

主に事前、事後を含む 3 つのコンポーネントより構成されます。

1. [研修前]

派遣学生は、日本語と英語の研修計画書、social letter 作成、資金計画、研修先・国情調査、執筆・発表を含む語学訓練、危機管理、研修先との networking 等の事前研修を受講します。博士機構は、個別相談を含む多様な研修機会を提供します。

2. [研修中]

派遣学生自ら立てた研修計画に沿って取り組みます。博士機構は、SNS などによる研修状況のモニタリング、online 相談などによる支援を個別の必要性に応じて実施します。

3. [研修後]

派遣学生は、研修を振り返り、研修成果をまとめあげ博士機構へ提出るとともに、自らの研究能力と PhD スキル強化について振り返り今後繋げる契機とする。博士機構は、研修完了報告書の提出と口頭報告の機会を設けます。

3. 派遣学生の資格・要件

本プログラムに申請できる者は、次の(1)～(14)のすべてに該当する者とします。

- (1) 本プログラムの趣旨に鑑み、自らに必要とされる研究能力や PhD スキルについて認識し、それらを伸ばすための海外における研修計画を自ら作成し、先方間との調整を行うことができる者
- (2) 在籍条件
留学開始時点において名古屋大学博士課程に在籍している者もしくは、名古屋大学学士課程3年次以上に在籍し、大学院進学を希望する者
- (3) 日本国籍を有するもの又は日本への永住が許可されている者（特別永住者を含む）
- (4) 2024年4月から2025年3月までの間に留学を開始し、連続して8日以上1年以内の間留学する者
※移動のみの日は留学期間に含まれません
- (5) 名古屋大学との協定校に留学する者
- (6) 計画書に記載された留学先機関が受入を許可する者
- (7) 受入先との連絡・調整や研修にあたり必要な語学力を有する者。英語の場合、TOEFL iBT60点を目安とする。
- (8) 指導教員または所属プログラムが推薦し、留学に関する手続きに協力が得られる者。
- (9) 経済的理由により、自費のみでの留学が困難な者
- (10) 本プログラムで実施する事前・事後研修に参加するもの
- (11) 名古屋大学における学業成績が優秀で人物等に優れており、かつ、次に定める方法で求められる、名古屋大学における選考時の前年度の成績評価係数が2.30以上(3.00満点)である者。

	成績評価係数				
5段階評価	S、A+	A	B	C、C-	F
成績評価ポイント	3	3	2	1	0

(計算式)

(評価ポイント3の単位数×3) + (評価ポイント2の単位数×2) + (評価ポイント1の単位数×1) + (評価ポイント0の単位数×0)

総登録単位数

- (12) 留学終了後、名古屋大学に戻り学業を継続し、学位を取得する者
- (13) 留学のために本制度以外の奨学金等（渡航にかかる費用及び返済が必要な貸与型奨学金や学資ローンは含まれない）を受ける場合、当該奨学金等の支給月額（複数

の団体等から受ける場合は合計金額の月額換算額) が本制度による奨学金月額を超えない者

※ほかの奨学金等を受給している、あるいは受給予定である場合は、必ず事前に申し出ること。

(14) 留学に必要な査証を確実に取得し得る者

4. 支援の内容

本プログラムに採用された学生には、以下の奨学金が支給されます。

(1) 奨学金月額

派遣先の国・地域によって奨学金月額は異なります。国・地域ごとの詳細は、別紙1「国・地域コード表」をご確認ください。

地域区分	奨学金月額
指定都市	10万円
甲	8万円
乙	7万円
丙	6万円

※定められた奨学金月額を変更することはできません。

※地域区分は、派遣先大学等の所在地(都市)により決まります。キャンパスが複数存在する場合には、実際に学生が留学するキャンパスの所在地(都市)が該当地域となります。

※本制度における指定都市は、原則、留学先大学等の住所表記に指定都市が含まれる場合に限りです。ニューヨーク市は、クイーンズ、スタテン島、ブルックリン、ブロンクス、マンハッタンの5区です。

※同一の留学内で異なる奨学金月額の地域に留学する場合は、留学の全期間にわたり、最初に留学する地域の奨学金月額が一律に適用されます。

(2) 渡航支援金

渡航支援金(家計基準)	渡航支援金(派遣期間)
16万円	13万円

※一定の家計基準又は登録時に一定期間以上の派遣を予定している場合が対象となります。

※両方の基準を満たしている場合は、渡航支援金(家計基準)のみの支給対象となります。

※家計基準による渡航支援金の受給を希望する場合は、証明書等の提出が必要となります。

※事前登録申請を行うことで、渡航支援金に限り、渡航前に支給できます。(申請時に相談すること)

5. 支給期間

採用学生に対し、奨学金を12月(12回)以内で支給します。

支給回数については、支給決定時にご連絡します。

6. 採用予定人数

2024年度の採用予定人数の上限は25名です。

7. 申請内容

- (1) 申請フォームへの入力
- (2) 研修計画書
- (3) 指導教員所見(計画書)
- (4) 利用条件の確認リスト兼回答書

8. 申請手続

「7. 申請内容」について、以下の申請用ページから申請を行ってください。また、所属の研究科/学部の教務窓口にも、博士課程教育推進機構の JASSO 海外留学支援制度へ申請することを連絡してください。

申請ページ

<https://dec.nagoya-u.ac.jp/inquiry/4893-2>

9. 選考スケジュール

時期	申請・通知元	申請・通知先	内容	備考
海外渡航6か月前の前月25日(土日祝日の場合は直前の営業日)までの提出が望ましい。※要相談	学生	博士課程教育推進機構	「7. 申請内容」の申請	研修計画書に指導教員または所属プログラムの承認を得ること

(例：12月1日出発なら5月25日)				
(海外渡航6か月前の前日25日までに書類を提出した場合) 申請の翌月20日まで	博士課程教育推進機構	学生	一次審査結果通知	
審査結果通知後すみやかに	学生交流課	学生	奨学金受給の資格審査	
(海外渡航6か月前の前日25日までに書類を提出した場合) JASSO 奨学金受給の資格審査後30日以内	学生交流課	学生	採択通知・奨学金受給手続きの案内	

10. 結果通知

申請時に登録したメールアドレス宛に、一次審査結果、JASSO に奨学金登録のための必要書類の案内を行います。ただし、JASSO 海外留学支援制度奨学金受給に係る最終登録可否は、JASSO での手続きが終了次第となります。

11. その他

名古屋大学海外留学室においても各種海外派遣プログラムを実施しています。主に以下のような取扱いとなっていますが、本プログラムと海外留学室実施の短期研修の組み合わせなどの場合は、双方へその旨申し出てください。

	学部生	大学院生
単位取得(※)や授業・セミナー受講を目的とする留学 (交換留学・春短期研修・秋短期研修) ※名大単位に限らない	海外留学室	海外留学室
単位取得を目的としない留学 (ラボ滞在・インターンシップ・調査等)	博士課程教育推進機構 (学部3年生以上で大学院進学を希望するもの)	博士課程教育推進機構 (春・秋短期研修とラボ滞在等の組み合わせ含む)

- ・名古屋大学海外留学室で実施するプログラム

詳細はこちらからご確認ください。

URL : <http://ieec.iee.nagoya-u.ac.jp/ja/abroad/program/index.html>

「博士課程教育推進機構の JASSO 海外留学支援制度」に関する
問合せ先

プログラムに関すること :

博士課程教育推進機構

E-mail : nu-hakase@t.mail.nagoya-u.ac.jp

奨学金の支給に関すること

学生交流課

E-mail : exchange@t.mail.nagoya-u.ac.jp